

ホームカミングデー

(同窓会総会)のご案内

参加費
無料

学食をお召し上がりになる場合は
事前申し込みの上
料金(500円/1食)をご持参ください。

同窓生の皆様や教職員が交流を深める「ホームカミングデー」、今年には宮代キャンパスで開催します。懐かしの学び舎や学生食堂を久しぶりに訪れてみませんか？
スペシャルゲストのステージやお楽しみ抽選会もご用意してお待ちしています。皆様お誘いあわせの上是非ご参加ください。

- 【内容】
- 12:00~13:15 学食体験 (同窓会特別メニュー500円/1食)
 - 13:00~13:30 受付
 - 13:30~14:00 同窓会総会
 - 14:00~15:00 **「こおり健太さん」スペシャルステージ**
 - 15:00~16:00 キャンパス見学

日時

令和5年
3/19 日 13:30~

会場

福島学院大学 宮代キャンパス
千葉記念ホール

福島市宮代乳児池1-1 TEL:024-553-3221

出席用ハガキ

Googleフォーム

返信用ハガキもしくは
QRコードよりGoogleフォームにて
お申し込みください。



参加申込締切: 2月24日(金)

- ホームカミングデーに参加します。(昼食有)
- ホームカミングデーに参加します。(昼食なし)
- 住所等変更しましたので連絡します。

ご参加の場合は、2月24日(金)までに返信用ハガキか、QRコードよりGoogleフォームでお申し出ください。ご参加されない場合でも、ご住所等に変更がある方はお申し出ください。

感染状況により中止となる可能性があります。
同窓会ホームページでお知らせしますのでご確認ください。

※封筒の住所ラベルに記載されている6桁または7桁の番号をご記入ください。

会員番号			
フリガナ			
氏名			
卒業年 学科	昭和・平成・令和	年	科卒業
現住所	〒 -		
変更有	<input type="checkbox"/>		
TEL:			

※ご記入いただいた個人情報は、同窓会事業以外には使用いたしません。



special guest

こおり健太 さん

プロフィール

2003年3月 福島学院短期大学保育科第一部を卒業後、保育士の仕事に3年間携わり、その傍ら数々のカラオケ大会で入賞や優勝を繰り返す。福島県で高視聴率の番組「FTV弦哲也のカラオケグランプリ」で第7回グランドチャンピオンに輝き、幼い頃からの歌手になりたいという夢を果たすため、単身上京。2008年11月「口紅哀歌」で歌手デビュー。昨年9月には15枚目のシングル「忘れ針」をリリース。現在、ラジオ福島で毎週土曜日の朝5:00~5:15にレギュラー番組「こおり健太 朝イチ番の歌便り」が放送されている他、TV、ラジオ等へ多数出演。

最新情報は同窓会ホームページで

令和3年度同窓会決算報告、令和4年度事業計画につきましては、同窓会ホームページでご確認ください。
<http://www.fukushima-college.ac.jp>



発行 福島学院大学同窓会事務局
〒960-0181福島市宮代乳児池1-1
(福島学院大学学生支援・キャリア支援課内)

福島学院大学

同窓会会報

2023.1

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

この度、同窓会会報を発行いたします。現在の母校の様子や同窓会の活動についてお知らせいたします。

ふくしまならではの学び

同窓会の皆様には、日頃より一番の応援団として本学を支えていただいておりますこと、心から感謝を申し上げます。

本学学生の8割は福島県内出身者であり、卒業生の多くが地元に戻り就職していますが、福島県は、東日本大震災及び原発事故以降、急激に人口減少が進み、地域を支える若者の地元定着率の低下が大きな課題となっています。

そのためにも、学術的な知識を教授するだけでなく、「生きる力」さらには「生き抜く力」を身につけていただき、道半ばである福島の復興・再生を支える人材、これからの地方を支える人材を育成していくことが、本学の大きな使命と考えております。

このような中、世界史に残るであろう福島の復

興の歩みを学びにつなげる「ふくしまならではの学び」を軸とした、人口減少や甚大な災害などによる地域社会状況の変化に柔軟に対応できる人材育成を目指す4年制の新たな学部として「マネジメント学部地域マネジメント学科」が、令和4年8月31日付で文部科学大臣から「認可通知書」をいただきました。

現在、令和5年4月の開設に向けて、「学修者本位の学び」と共に「教育の質確保」にさらに努力を重ねているところです。

今後とも、「学生第一の大学」「地域になくはならない大学」を目指し、挑戦する姿勢で大学改革を進めてまいりますので、ご指導、ご支援をよろしくお願いたします。

理事長・学長あいさつ



理事長・学長
桜田 葉子

同窓会会長あいさつ



同窓会会長
渡辺 あゆ美

皆様にお会いできることを心からお待ちしております

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。お元気でご活躍されていることと存じます。また、日頃より同窓会活動にご理解、ご協力をいただいておりますこと心から感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、同窓会事業を中々開催できない状況にありましたが、今年度は3年ぶりに同窓生の皆様とお会いできる「ホームカミングデー」を企画しました。活躍する卒業生を招いての音楽コンサートやお楽

しみ抽選会のほか、学食体験やキャンパスツアー等も予定しています。同窓生の皆様が学生に戻った気持ちで楽しみ、また未来について語り合える一日にしたいと心を込めて準備を進めております。懐かしい先生方や友人、また初めて会った同窓生とも交流を深めていただけたら幸いです。「ホームカミングデー」で皆様にお会いできることを心からお待ちしております。

TOPICS! 宮代キャンパスに 新学部誕生!!

令和5年4月、マネジメント学部 地域マネジメント学科が開設されます。入学定員90名、収容定員360名の4年制で、経営学、経済学、政策学を中心としたマネジメントを体系的に教育し、持続可能な地域の創生と活性化に貢献する人材を養成する学部・学科です。同窓会の皆さまのご家族(ご兄弟、お子さん)であれば入学金が一部免除されます。オープンキャンパス開催中! 気になる方はぜひお問合せください。

【お問合せ】入学広報課 TEL024-553-3253 a-o@fukushima-college.ac.jp

寄付金ご協力のお願について

福島学院には長い伝統と歴史があり、地域に根差した大学としての役割を果たすため、継続的なご支援をお願いし更なる発展のために皆様と共に歩んでいきたいと考えております。4月から新学部がスタートすることもあり、今後も教育研究の更なる充実を図り、社会に役立つ人材の育成のために努力してまいりますので、皆様の応援を賜りたくお願い申し上げます。

【寄付の使途】

地域連携や風評払拭に関する取り組みを取り入れた教育環境整備のため

【寄付の申し込み方法(郵便振込)】

恐れ入りますが、1口3,000円とさせていただきます。また、払込用紙通信欄に必ず連絡先(住所・氏名・電話番号)をご記入をお願いいたします。(連絡先確認のため必要となります。)

※同封の郵便振込用紙を使用し、郵便局で通帳・カードにてお手続きいただければ振込手数料が無料となります。

【寄付金に対する減税・免税措置】

福島学院への寄付については、寄付金控除の対象となります。控除は確定申告時となりますが、手続きに必要な「受領書」及び「証明書」を払込用紙通信欄に記載された住所へ後日お送りいたします。



福島学院大学同窓会 卒業生座談会

テーマ コロナ禍における食生活

本学同窓会では、様々な業界で活躍する卒業生をお招きし、卒業後の輝かしい活躍をお話いただく「卒業生座談会」を今般、新たに企画いたしました。記念すべき第一回目を2022年8月30日(宮代)キャンパスにて渡辺あゆ美同窓会長をファシリテーターに、桜田葉子理事長・学長、柴田大輔学生部長、食物栄養学科教員5名が参加、和やかな雰囲気のもと開催いたしました。当日の様子を同窓生、在学生にお届けします。

ファシリテーター／渡辺あゆ美氏 (以下、渡辺さん)：

現在、食に関するお仕事をされているお二人にお伺いします。コロナ禍で様々な活動が制限される中、食生活で変化していると感じることはありますか。

パネリスト／桑折敦子氏(以下、桑折さん)：

食事は「黙っていても、お母さんが毎日作ってくれるもの」と言うように、今まで、あまり価値を払ってこなかったところがあると思います。最近、コロナ禍で外食を極力控え、自宅で作る機会が増えたことにより、毎日、食事を作ることの大変さや価値に気付いたという人が増えているようで、食の大切さという点で大変良いことだと思っています。反面、経済活動の鈍化で収入が減ると、食事は大切と分かっている、節約するところは食と言う人もおり、自宅で作る



ことを楽しんでいる人がいる一方で、簡単に出来ているもので済ませてしまう人もいて、良くも悪くも食生活が二極化していると感じます。

パネリスト／船山百栄氏(以下、船山さん)：

我が社は駅でのお弁当販売以外にも飲食店を展開しているので、コロナ禍で売り上げ的には大変厳しい状況になりましたが、「全国でも人気のある有名な駅弁だよ。今まで食べたことないけど、食べてみようか」と、自宅で食べて頂く形で買い求められる方が増えました。桑折さんもおっしゃっていましたが、コロナ禍において食に対する考え方が「本当に美味しいものを食べたい」という考え方と「もう、これで済ませよう」という考え方の両極になったと私も感じています。ただ、私もそうなのですが、毎日、毎食、家族の健康を考え食事を作るのは大変ですが、誰かと一緒に食べるという時間の大切さに気付いた人も多いのではないかと思います。

桑折さん：

私は自分が美味しいと思ったものを共感されたい、美味しいと言われることが喜びとなる性分です。「こんな美味しいものを作ってくれて、ありがとう」と言われることが楽しみであり生きがいです。最近は行動制限も少し緩和されてきたため、人を集めて、これまで訪れた

国々で得た料理の知識を生かし、多国籍な料理を振る舞うことを楽しんでいます。食事を楽しむことで、その人たちの次の食事の選び方、考え方が変わってくると感じています。

船山さん：

コロナ禍で行動が制限される時だからこそ、ストレスと向き合うことも大事だとおもいます。私は「発酵食品は精神安定剤」と考えています。なので、お味噌汁は欠かさず作っています。心と体を温めることが大事です。駅弁はどうしても温かいまま出せませんが、「冷たくても美味しいのが駅弁」という思いで一生懸命作っています。日々、作ることに喜びを感じています。

渡辺さん：

コロナ禍を乗り切る背中を一押しするような、お二人の食へのポリシーをお教えてください。

船山さん：

我が社の製造・販売する「牛肉ど真ん中弁当」は、山形新幹線の開業に合わせ誕生しました。以来30年以上、機械に頼ることなく、肉を手切りして自分たちで味付けをし、一個一個、自分たちの手でご飯をよそって盛り付けしています。日々、お米や肉の状態を見ながら・・・人が手をかけて作るからこそ、食べた時



に温かさを感じると思っているので、製造・販売数が増えた今もそこだけを変えないところがポリシーだと考えています。もう一つ、20代の頃、議員事務所で裏方の仕事をしていた時期があり、華やかな表の仕事をする人が多い中、「どうして私ばかり」と思った時もあったのですが、事務所の先輩から「みんな見ているから、大丈夫」という一言に助けられ、「自分の仕事を見て(評価して)くれる人がいる」ということが自分の自信に繋がりが、今があると思います。我が社の業務は主に製造ですので、社員には実演販売などで、お客さんと接する機会を持たせるようにしています。お客様の顔を見ることができ、マスク越しではありますがコミュニケーションを取ることが一番の励みになっているようです。作る喜び、お客様の喜びは、本当に

パネリストプロフィール



桑折 敦子氏 1994年／食物栄養科卒

卒業後、飲食店や医療機関の勤務などを経て、2004年に「スーパーストックトーカー」を展開するスマイルズに入社。スーパーストックトーカーで提供されているほとんどのメニュー開発や、同社飲食業態全般の商品開発に携わる。2017年6月に独立し、フードプランナーとして、レストランのメニュー開発や企業の商品開発他、世界の家庭料理を学べる料理教室なども主催。



船山 百栄氏 1988年／秘書科卒

卒業後、建設・飲食などの仕事を経て、議員事務所に就職、事務職や地元秘書として勤務。1998年に家業である(有)新幹屋に入社、三井アウトレットパーク仙台港開業当初から東北のお土産・食や工芸などを紹介する店舗を展開。メーカーとの商品開発に向けたアドバイザーとして携わる。2021年代表取締役社長就任。同年仙台市にある滋慶学園仙台カフェ・パティシエ&専門学校と仙台デザイン&テクノロジー専門学校と産学連携でテーマ「エシカル」をテーマにこれからの駅弁の開発を行う。(昨秋販売)当社の「牛肉どまん中弁当」は昨年も東京駅駅弁祭りにて人気駅弁1位を獲得。



ファシリテーター

同窓会長 渡辺 あゆ美氏 1992年／生活教養科卒

(株)福島キャリアナビ専務取締役

社員一人ひとりが成長する糧になっていると思います。

桑折さん：

食に対する感覚は千差万別です。ですから、お客様へ提供する商品にブレがないよう、私は毎日「この商品は誰が食べ、誰が美味しいと言えば正解」なのかを自分の中で決めていきます。例えば「〇〇さんが残業する時に、閉店間際に駆け込んで食べるスープ」と設定し、その人が美味しいと感じればOKとしています。もう一つ、「アイデアの数は移動の距離に比例する」と言う言葉に感銘を受け、これまで沢山旅行をし、沢山の人たちと出会いました。その経験を生かし「私は一番美味しいものを食べてきて、知っているのだから、間違いない」という自信を持って準備することを心掛けています。加えて、「人生はアート」という本を読んで、「自分が楽しいと思う仕事があったらいい」と思ったのがこの仕事に就くきっかけだったのですが、この気持ちが今も残っていて、誰かに喜んでもらえる商売は本当に楽しい。自ら考えた料理を誰かに喜んでもらえるのを見る瞬間がとても楽しく感じています。

渡辺さん：

福島学院大学、福島学院大学短期大学部の後輩たちへのメッセージをお願いいたします。

桑折さん：

自分へ投資して欲しいです。今時間があるうちに、好きな事の知識を一杯詰め込んでおいて欲しいと思います。日々の学習だけでなく、沢山の本を読んだり、旅行を通して見聞を広めたり、沢山の人に出会うなど、将来、きっと役立つことが沢山あると思います。知識の引き出しを生かして、仕事を楽しめるようになってください。

船山さん：

「コロナ禍だから、マスクをしなればいけないから、何もできない」ではなく、「コロナ禍のこの経験が今後どのように生かせるのか」を考えて欲しい。この事がこの先の経験や知識と合わさることにより、別な形の良いものに生まれ変わると私は思っています。今の状況を一つのチャンスと捉えて、前向きに頑張ってください。

郵便はがき

料金受取人払郵便

福島東局 承認

156

差出有効期間 令和5年7月31日まで (切手不要)

9600190 (受取人払い専用郵便番号)

福島市宮代乳児池1-1

福島学院大学 内
同窓会事務局 行

